

- ・ 東部沿岸部の移転跡地利活用事業
- ・ 東部沿岸部回遊性向上への目標値の設定
- ・ 貞山運河の利活用と新浜橋架橋の再検討
- ・ 県道塩釜亘理線・高砂橋付近の渋滞対策
- ・ 沿岸部の将来人口推計と集落維持について



Look 県道塩釜亘理線・高砂橋付近の渋滞対策

県道塩釜亘理線の高砂橋付近
時間帯により大渋滞が発生！

(現状と位置づけ)

- ・ 仙台港と仙台空港を結ぶ重要な物流路線
- ・ 蒲生地区が物流を支える地域
- ・ 東部沿岸部の回遊性向上にも支障
- ・ 周辺地域の方々の生活に支障

(これまでの対策)

- ① 高砂橋南側の交差点に右折レーンを設置
- ② 高砂橋北側の信号を調整

現在、交通量調査を実施し検証中！



Look 沿岸部の将来人口推計と集落維持について

(意見) 市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域として都市計画法に定められておりますが、抑制し続けて集落が機能しなくなるのではないかと感じている。特に、立地適正化計画による公共交通を軸としたまちづくりにより、沿岸部の人口維持は期待できないし、このような郊外からコミュニティが衰退していく。

(質問) 10年後、20年後、30年後が心配。これから人口減少が加速いくうえで様々な課題が想定されますが、沿岸部の人口についてどう考えているのか、将来人口推計についての管理は小学校区毎とのこと。例として宮城野区岡田小学校区について、仙台市全体の将来人口推計と比較した、現在から今後10年、20年、30年後の人口推移をお示しください。

(都市整備局) 仙台市と岡田地区の人口推移比較 単位：人

	令和5年度時点	10年後(令和15年)		20年後(令和25年)		30年後(令和35年)	
		令和5年比	令和5年比	令和5年比	令和5年比		
仙台市全体	1,099,000	1,094,000	Δ0.4%	1,063,000	Δ3.3%	1,019,000	Δ7.3%
岡田小学区	4,000	3,700	Δ6.9%	3,300	Δ16.1%	2,900	Δ26.5%

(意見) 数値を示して頂きましたが、団地を除けば人口減少の幅は大きくなると思いますし、沿岸部に行くほど、集落の機能低下が心配。町内会事の将来人口を示していただければ、重点的に支援しなければならない地域もみえてくるはず。是非、公共交通を軸としたまちづくりも大事ですが、沿岸部の集落維持についても真剣に検討して頂くことをお願い申し上げます。

仙台市議会議員 **田村 勝**
市政報告

令和6年3月発行 VOL.28
発行：田村勝事務所
事務所：仙台市宮城野区福田町1-9-10
電話番号：090-2275-3540
メール：mas.tamura@icloud.com

仙台市議会 第1回定例会が3月14日に閉会しました。新年度の予算審査においては、宮城野区東部沿岸部の取組みと市街化調整区域における課題、新年度からの仙台市の目玉事業、仙台市流域治水モデルとして福田町エリアが選定された件につき期待を込めて議論をしております。

また、今議会中に「市内病院を含む4病院再編構想に関する件」、「パレスチナ自治区・ガザ地区における平和の早期実現に関する件」が決議されました。

【市議会の決議って何?】議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。議決の形式でなされる議会の意思表明は、当該地方公共団体の公益に関する限り可能と考えられており、極めて広範な問題をとりあげることが可能です。



本会議 一般質問【2月20日】

- ・ 花粉症ゼロシティを目指すべき
- ・ 第五次地震被害想定調査結果への対応
- ・ 津波避難広報の改善
- ・ トイレトレーラーの導入
- ・ 高齢者や障がい者に対応した津波避難訓練



Look 杜の都仙台、花粉ゼロシティを目指すべき！

(質問) 杜の都を掲げる本市、花粉ゼロシティを目指すべきだと考えます。

(経済局) 年度内に森林整備計画を改定し、杉等の人工林の伐採、植え替えの促進等について位置づけ、宮城県や林業事業者等と、密に連携を図りながら、飛散する花粉が少なくするよう、花粉症対策に計画的に取り組んで参ります。



(質問) 花粉は無風の場合、毎秒2、3センチで落ちていき、風があっても飛ぶ距離はおおよそ数十キロと言われているため、市内での取組でかなり軽減できるはず。建設局は道路の街路樹を含めて、公園など身近なところに樹木を抱えております。これらの花粉症対策についても伺います。

(建設局) 公園や街路樹においては、花粉症の原因となる杉や檜を植栽することはありませんが、都市周辺の緑地の一部では杉林や檜林となっているとことがあります。今後、分布状況を把握し、関係局と連携をしながら対応し検討してまいります。

仙台市の人工林面積 約8,400㏊

そのうち、
花粉症発生原因、杉人工林
約6,000㏊

都市周辺の緑地の一部
植栽状況不明

今後の花粉症対策

- ・ 年度内に森林整備計画を改定
- ・ 人工林の伐採、植え替え促進
- ・ 県や林業事業者と連携

同じ政令指定都市
福岡市の花粉症対策

- ・ 農林業総合計画に明記済み
- ・ 杉、檜の伐採、利用を推進
- ・ 広葉樹への植え替えを3万本実施

